

令和5年度

第4回八雲町社会教育委員会議

〇と き 令和6年3月18日(月)
午後6時00分～

〇ところ 八雲町公民館第1・2集会室

1 開 会

2 あいさつ

八雲町教育委員会 教育長 土 井 寿 彦
八雲町社会教育委員 委員長 小 林 元 彦

3 議 題

(1) 令和5年度 社会教育課・熊石教育事務所所管事業実施報告について

(2) 令和5年度 社会教育委員各部会等活動報告について

(3) 令和6年度 教育行政執行方針について

※ 資料は当日配付します

(4) 令和6年度 社会教育関係予算について

(5) 令和6年度 社会教育課・熊石教育事務所所管事業計画案について

(6) その他

4 閉 会

令和5年度八雲町社会教育課・熊石教育事務所管事業について

【少年教育関係事業】

【単位：予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考
ミニ金魚ねふたづくり講習会 (第38回旧たごづくり講習会)	4月22日(土)	町民センター	「金魚ねふた」を作ることにし、自分の手で工夫して作る体験の中から、日本の伝統的なものづくりを学び親しむとともに、青少年の健全育成を図る。 ◆受講者28名 ◆講師 成田幼節氏(ねふた絵師) ※主管：若人の集い	R5	9	8,400	子ども21名、大人7名	
第45回 子どもアイデア工作展 ◆公民館事業	8月～9月	公民館	子どもの創造する力をのばし、手作りの楽しさや工夫する喜びを理解させるとともに「科学する心」を涵養する。 ◆参加者 小学生112名 ◆内容 8月29日(火)応募締切、審査会8月31日(月)、表彰式9月12日(火) ※入賞作品はものづくり・アイデア作品展(函館地方児童生徒発明工夫展)に出品、6点は北海道青少年科学技術振興作品展に出品。また、6点のうち2点は第82回全日本小学生児童発明くふう展の書類審査に出品。	R5	50	47,840	小学生112名	小学校4校
ユーラップ川 自然体験学習会	①7月2日(日) ②11月4日(日) ③1月13日(土) ④3月28日(木)	遊楽部川ほか	遊楽部川の自然を観察し、体感することで郷土のよさの気づきを促すとともに、環境問題についても意識の醸成を図る。 ◆講師 裨田一俊氏 ①川釣り探検(15名) ②鮭の遡上観察会(18名) ③オオアワシ、オジロアワシ観察会(13名) ④鮭の稚魚観察会	R4	35	36,100	4回・延べ60名	小学校5校
新春書初め席書大会 (熊石地域)	1月9日(火)	ふれあい交流センター<まいし館	新年の書初めを行うことで書に親しみ子どもの情眼を高める。 ◆小・中学生対象 ◆大会(1月9日)、審査会(日程未定) ※八雲、熊石両地域合同展示会(日程未定)	R5	38	7,750	小学生7名、中学生0名	
第59回 小・中学生新年席書大会 (八雲地域)	①1月9日(火) ②1月10日(水)	①落部町民センター ②公民館	新年の書初めを行うことで書に親しみ子どもの情眼を高める。小中学校・各書道塾などをとおして参加者を募集する。 ◆小・中学生対象、小学校1年生～6年生の各学年ごと、中学生と7部門で行う。 ◆大会(落部会場：1月9日、八雲会場1月10日)、審査会(1月11日)、表彰式(1月26日) ※八雲、熊石両地域合同展示会(熊石：2月1日～2月14日、八雲：2月16日～2月26日)	R5	95	81,900	小学生50名、中学生16名	
公民館 生涯学習講座 (子ども対象) ◆公民館事業	パレット 5月～2月 アトリエ 10月6日(金) ～10月9日(月)	公民館	創作活動をする事の喜びと楽しみを知るとともに、子どもの豊かな感性を育む。 ・子ども絵画パレット(幼児～小3対象)(11名) ・子ども絵画アトリエ(小3～中3対象)(10名)	R5			参加者21名	
				R4			参加者26名	
				R3			参加者23名	

【少年教育関係事業】

【単位: 予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考
公民館 生涯学習パソコン講座 (子ども対象) ◆公民館事業	3月27日(水) 予定	公民館	情報化時代に対応し、パソコン講座を開催する。 ・八雲地域 プログラミング ※共催: 八雲パソコン同好会	R5 R4 R3				
国際交流事業	①2月14日(水) ②2月21日(水) ③2月28日(水)	①落部支所 ②くまいしん館 ③公民館	小学生を対象に、外国語指導助手との交流や遊びをとおして、異文化を体験し国際理解を図る。 ◆講師 外国語指導助手 ◆内容 英語de作ろうヒーローズアート 落部会場: 2月14日(中止) 熊石会場: 2月21日(中止)、八雲会場: 2月28日(8名参加)	R5 R4 R3	19 19 16	— 9,400 9,420	— 八雲8名 八雲9名 八雲7名、落部10名、熊石7名	
国際交流のつどい	中止 (受入先無しのため)	—	世界各国からの留学生とホストファミリーとの交流を中心に、日本の伝統文化体験、学校交流、地域交流をとおして、相互の国際理解、国際交流を図る。	R5 R4 R3	0 0 0	0 0 0	中止(受入先無しのため) 中止(コロナ) 中止(コロナ)	
第40回 お年寄りと子どものつどい	①7月22日(土) ②8月26日(土) ③9月9日(土) ④10月18日(水) ⑤11月18日(土) ⑥12月9日(土)	公民館ほか	高齢者と子ども達が、各種活動を通じて世代間交流することで、生きがいづくりや感謝・思いやりの気持ちを育む。 ◆開催内容 ①木タルを見に行こう!(子25名、高齢3名、保護者14名)、②ゲームで楽しもう!(子9名、高齢4名)、③パークゴルフ(子9名、高齢2名、保護者1名)、④まがたま作り(子14名、保護者1名)、⑤災害について学ぼう!(子10名、高齢1名、保護者1名)、⑥もちつき(子14名、高齢12名) ※主管: 社会教育推進員会	R5 R4 R3	39 39 39	— 30,200 27,600	— 子ども81名、保護者17名、お年寄り22名 子ども112名、保護者2名、お年寄り20名 子ども102名、保護者2名、お年寄り9名	
英語で遊ぼう FOR LITTLE CHILDREN (おやこの英語教室)	①3月9日(土) ②3月16日(土)	公民館	外国語指導助手との会話や遊びを通して、外国の文化や生活について学習するとともに、英語への理解を深める。 ◆講師 外国語指導助手 ◆内容 簡単な英語を使った歌、ゲームなど	R5 R4 R3	16 16 15	— 7,800 0	— 3回、延べ23名 中止	
第40回 ふるさと発見ウォークラリー大 会	9月16日(土)	町内	ウォークラリーに参加することをとおして、ふれあいや絆を深めるとともに、八雲地域の歴史や文化を学ぶきっかけとする。	R5 R4 R3	66 66 39	17,640 41,250 0	25名(9チーム) 35名(12チーム) 中止(代替事業実施)	
シールラリー大会 (ウォークラリー大会の代替 事業)	—	町内	町内の施設(図書館・総合体育館・郷土資料館・梅村庭園・公民館)をめぐり楽しみながら八雲について学ぶ。	R5 R4 R3	— — 28	— — 26,652	— — 38名	

【少年教育関係事業】

【単位：予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考
木エクラフト講座	—	—	熊石の自然を活かして様々な体験や創作活動を開催し、青少年の健全育成を図るだけでなく、郷土のすばらしさの再認識や親子のきずなを深める。 ◆内容 木エクラフト体験等	R5 R4 R3 R5 R4 R3	— — 18 13 15 —	— 0 0 — 10,000 —	— 中止 0 中止(代替事業実施) 0 中止(コロナ) — 中止 20名(子14名・大6名) —	
カタカタぬ〜りぬり (泊川集学校共催事業)	中止	—	3m×3mの布に描いてある絵に参加者で色を塗り、ふれあいや絆を深めながら創作活動を行うことにより、青少年(親子含め)の健全育成を図る。 ※泊川集学校とコラボレーション開催	R5 R4 R3	6 6 6	4,440 4,260 2,200	感想簿記載者3名 芳名帳記載者6名 芳名帳記載者10名	
ヒロシマ・ナガサキ 原爆写真ポスター展	①7月20日～28日 ②8月1日～15日 ③8月17日～24日	①公民館 ②落部支所 ③熊石歴史記念館	戦争体験や原爆被爆体験を伝えるため、原爆被害の実相や現在の核兵器の状況などについて描かれたポスターをとおして戦争の悲惨さを知り、被爆体験を次の世代に正しく伝え、平和意識を高める。 ◆内容 ポスター展示「サダコと折り鶴」ポスター	R5 R4 R3	0 — —	0 — —	0 7名(八雲高校2年生) — —	
第1回「町長と高校生の意見交換会」	2月22日(木)	八雲高等学校	八雲町の高校生が、八雲町をよりよい町、住みよい町にするために、町長との意見交換をおして、まちづくりへの関心を高める機会とする。	R5 R4 R3	15 8 10	1,485 4,212 0	40名(子21名・大19名) 20名(子12名・大8名) 23名(子11名・大12名)	
化石採集体験学習	7月1日(土)	上八雲	ポンセイウウベツ川右岸での瀬棚層の観察や貝化石の採集体験を行う。	R5 R4 R3 R5 R4 R3 R5 R4 R3 R5	9 4 11 15 6 14 15 6 14 15	3,900 6,510 0 0 6,510 3,900 0 6,510 3,900 0	参加者34名 参加者20名 参加者31名 — 参加者4名 参加者7名 —	(勾玉作り) (勾玉作り) (勾玉作り)
縄文化体験講座	3月2日(土)	公民館	勾玉についての学習を行ったあとに、実際に滑石という石を加工して勾玉作りを体験する。	R5 R4 R3 R5	11 15 6 14	0 0 6,510 3,900	0 — 参加者4名 参加者7名	
少年文化財教室	中止	中止	体験学習を通して、八雲の自然や歴史について学ぶ。	R4 R3	6 14	6,510 3,900	参加者4名 参加者7名	空飛ぶタネの模 型づくり体験 木彫り熊の絵手 紙作成

【青年・成人教育関係事業】

【単位：予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考
八雲町二十歳の集い	1月7日(日)	町民センター	◎令和6年八雲町二十歳の集い 20歳を迎えた青年を対象に、ふるさと八雲や自分の生き方をあらためて見つめ直すことのできる式典等を開催する。 (対象者H15.4.2~H16.4.1生まれ) ◆式典、記念講演、動画上映など	R5	653	392,044	85名(対象者143名)	八雲・熊石合同開催
YOU・遊・クラス (第49回八雲町青年学級)	7月26日(水) ~3月7日(木)	公民館ほか	働く青年の人格形成と住み良い地域づくりを進める為の仲間づくりを図るとともに、青年への学習機会を提供し、自主的な社会参加活動を促進する。 ◆クラス生:8名	R5	12	3,900	8名参加	
第37回 青年活動リーダー研修会	12月12日(火)	公民館	青年活動の意義や青年としての生き方、具体的な団体の運営方法などについて学習することにより、各自の果たす役割を見いだし、団体及び活動の活性化を図る。 ◆内容 講演会・ワークショップ「一人ひとりが輝くチームづくり~フオロワーシップ~という考え方を活用して~」 ◆講師 満保 淳氏(道立青少年体験活動支援施設ネイパル足寄所長) ※主管:若人の集い	R4	52	51,650	19名	
青年活動道外研修 (隔年実施)	3月2日(土) ~3月3日(日)	東京都	全国のまちづくりについての研修や活動家との交流をとおして、地域における青年活動の活性化を図る。研修団を組織して研修事業を実施する。研修団へ助成金の支出と支援を行う。 ◆「全国まちづくり若者サミット2024」への参加	R5	96	96,000	3名参加	
第40回 八雲町青年問題研究会	3月22日(金) ~3月23日(土)	公民館	参加者が主人公となって、仲間との話し合いを通して、青年活動の点検や生きていくうえでの課題解決を図り青年自らの成長に役立たせる。 ◆実行委員会 12月発足 ◆内容 記念講演「語り合いから始まる『出会い・ふれあい・わかちあい』」 分科会 ①仕事 ②出会い・恋愛 ③まちづくり ◆講師 棚田 一論氏(日本青年団協議会事務局長) ※主管:青研集実行委員会(若人の集い)	R4	147	136,160	43名	
茜学級 (第50回 八雲町女性学級)	6月27日(火) ~3月5日(火)	公民館ほか	学習活動や趣味活動などの取り組みをとおして仲間づくりをすすめるとともに、住みよい地域づくりにむけて地域や家庭で女性が果たす役割について考える。 ◆学級生:7名	R5	17	—	7名、延54名	
				R4	16	8,600	11名・皆勤1名・精勤1名・修了3名・延100名	
				R3	17	0	0 中止	

【青年・成人教育関係事業】

【単位：予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考
第33回 全町女性研修会	11月25日(土)	公民館	全町にわたる女性団体及びサークル、個人が女性の立場から一堂に集い、地域の活性化のために女性の果たす役割を考える。 ◆内容 講演会「笑う門には福来る！心と体、お金の健康漫談」 ◆講師 福々亭 ナミ子 氏 ※主管：やくもレディースネット	R5 R4 R3	109 113 114	104,600 112,770 111,600	47名 16名 34名	
女性活動リーダー養成国内 研修(隔年実施)	R5実施なし	—	全国のまちづくりについての研修や女性活動家との交流をとおして、地域における女性活動の活性化を図る。研修団を組織して研修事業を実施する。研修団への助成金の支出と支援を行う。	R5 R4 R3	— 96 —	— 96,000 —	無(隔年実施のため) 3名 無(隔年実施のため)	
第40回 あんどん型山車づくり講習会	4月21日(金) ～4月23日(日)	町民センター	町民が一丸となって取り組める山車行列をめざして、山車の絵の描き方の基本技術を学び、地域・職場等で参加できるきっかけをつくるとともに、絵の技術向上をめざす。 ◆山車絵の制作 ◆講師 成田幻節 氏(ねぶた絵師) ※主管：山車行列実行委員会・若人の集い	R5 R4 R3	74 78 78	73,500 78,000 78,000	延べ91名 延べ78名 延べ62名	
マイプラン学習講座 (自主運営学習事業)	通年	公民館ほか	町内の団体、サークル等が自主的に行う学習活動へ講師を派遣し、町民の生涯学習活動の推進を図る。 (謝金の一部支援、会場確保、PR協力等を実施する。) ◆R5年度 2件応募有	R5 R4 R3	120 120 120	70,000 0 0	2件応募有(3月現在) 延62人参加 応募なし 0 応募なし	

【高齢者教育関係事業】

【単位：予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考
遊楽部学園 (第51回 八雲町高齢者学級)	6月30日(金) ～3月22日(金)	公民館ほか	町内の高齢者が教養や趣味を身につけることにより、生きがいを創造する。 ◆学園生：14名	R5 R4 R3	45 44 41	— 0 0	14名 13名 中止(コロナ)	※事業縮小実施 につき支出不し
第31回 シルバーオリンピック	中止	—	町内の高齢者が一堂に会し、スポーツ活動を実践することにより健康づくりの意識高揚と体力の維持を図る。 ◆内容 8競技、マスゲームなど ※共催：八雲町	R5 R4 R3	/	/	中止(コロナ) 中止(コロナ) 中止(コロナ)	保健福祉課 主催事業 保健福祉課 主催事業 保健福祉課 主催事業
地域生きがい学級	4月～3月	各 地域会館	高齢化社会に対応するため、趣味や教養などの学習活動を展開し、豊かな生きがいづくりを図るため、地域単位で自主活動を促進する。 ◆開設期間 4月～3月 ◆開設学級 3学級 ・山越地区 学級生13名 ・落部地区 学級生12名 ・大新地区 学級生8名	R5 R4 R3	31 31 35	— 7,500 5,000	— 3地域・33名 3地域・36名 2地域・20名	
第18期熊石生きがい学習塾	5月～10月	ふれあい交流センター<まいし館 ほか	高齢者の継続的学習の場と機会を拡充し、生涯学習における高齢者教育の充実に努める。 ◆内容 ①写真立てフレーム工作体験 (5月29日：6名) ②写真立てフレーム工作体験 (加工編) (6月15日：6名) ③厚沢部町巡り (7月27日：5名) ④西学級との交流パークゴルフ (8月22日：5名) ⑤せたな町巡り (中止) ※最低開催人数未滿のため ⑥熊石文化祭見学 (10月27日：5名)	R5 R4 R3	33 12 14	11,468 10,000 0	11,468 5回・延べ27名 10,000 4回・延べ16名 0 3回・延べ18名	

【家庭教育関係事業】

【単位：予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考
幼児教育講演会	3月20日(木祝) ～3月21日(金)	シルバークラザ	子どもの人格形成に重要とされる幼児期の教育について学習するとともに、子育てをする親同士のネットワーキング作り、地域での子育てについて考える。また、学習をとおして親育ちを図り、家庭教育と子どもの健全な成長を支援し、地域ぐるみの子育てをめざす。 ◆内容 親子でかんたんクッキング ◆講師 平島 美紀江氏(七飯町 株式会社のことたべ代表取締役)	R5	59	—	—	
				R4	58	56,700	18名	
家庭教育支援講座				R3	58	57,128	19名	
				R5	47	—	—	
				R4	47	46,700	26名	
家庭教育講演会	12月17日(日)	公民館 ※Zoom配信あり	児童生徒の健全育成を図るため、子どもを取り巻く社会の状況や子どもの様相について学習する。 ◆内容 講演会「今から子どもに伝えておきたい やさしい性のおはなし」 ◆講師 あおき かなえ 氏(性教育アドバイザー)	R3	45	46,728	10名	
				R5	50	50,000	27名	
				R4	50	51,700	25名	
第35回 親子の自然体験学習	11月3日(金)	町内	北海道の自然に接し、自然の大切さや素晴らしさを理解すると共に、親子の心のふれあいを図る。 ◆内容 植樹体験、樹木観察体験等 ※主管：社会教育推進員会	R3	50	0	0 中止	
				R5	22	—	20名	
				R4	21	15,000	8名	

【単位：予算(千円)、決算(円)】

【生涯学習】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考
第32回 生涯学習フェスティバル	10月～12月	公民館ほか	町内社会教育関係団体との連携・協力のもと、多種多様な生涯学習事業を町民各層に提供し、町民の生活資質向上を図るとともに、地域づくりについて考える機会にする。 ◆実行委員会 8月発足、協賛事業募集、チラシ等で事業をPR ◆内容 講演会、団体の協賛事業、地域間交流事業、キッズパフォーマンスなど ※主管：生涯学習フェスティバル実行委員会	R5	174	131,470	37事業・41回 2,223名参加	
公民館生涯学習講座 ◆公民館事業	5月～12月	公民館	集団で創作活動等をする事の喜びを知るとともに、余暇を有意義に活用するた め、町民ニーズにあった各種講座を開設し、生涯学習の振興を図る。 ◆開催講座 ・八雲地区14講座(着つけ、絵画(昼・夜)、篆刻、俳句入門、ソーイング、陶芸、小 原流生け花、英会話、フラダンス(昼・夜)、子ども絵画(バレット・アトリエ)、八雲 学)	R5	835	608,950	八雲14講座 (延べ813名)	
公民館生涯学習講座 「木彫り熊講座」	6月～10月 (毎週土・日) 全38回	木彫り熊資料館	《北海道木彫り熊発祥の地・八雲》の木彫り熊の歴史と文化を学び、その伝統技 法を後世に継承し、木彫り熊を製作することにより町づくりに取り組む町民の育 成をめざす。 ◆受講者：13名	R5	385	284,198	受講者13名 (延べ400名)	
公民館パソコン講座 ◆公民館事業	6月26日(月) ～10月25日(水)	公民館	情報化時代に対応し、各種パソコン講座を開催する。 ◆開催講座 5講座募集	R4	430	235,900	受講者13名 (延べ334名)	
IT町民サポートセンター ◆公民館事業	4月～3月	公民館 はびあ八雲	町民のパソコンに関する相談窓口を月2回開催し、問題解決するとともに、パソ コンの普及を図る。 ◆開催日時 4月～3月(毎月第2・4木)	R3	383	293,974	受講者10名 (延べ260名)	
				R5	261	83,400	5講座・19名(延べ54名)	
				R4	257	79,850	5講座・31名(延べ89名)	
				R3	303	91,860	5講座・19名(延べ55名)	
				R5	63	—	—	
				R4	62	77,250	全24回・23名利用	
				R3	63	62,400	全24回・11名利用	

【生涯学習】

【単位：予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考
茶道講座	6月～11月	梅雲亭	日本の伝統文化に親しみ、茶道の作法を学ぶ。 ・全12回(月2回、平日夜間) ◆受講生:7名	R5	47	46,800	12回実施 受講生7名	
史料より見る歴史講座	11月26日(日)	公民館	八雲地域に関する古文書から知り得る、八雲・熊石の歴史について学ぶ。 ◆講師 幸村恒夫氏	R5	20	2,400	八雲17名	
企画展 収蔵美術展 牧野富太郎と坂本直行 ～植物を愛したふたりのまな ざし～	6月6日(火) ～8月20日(日)	木彫り熊資料館	坂本直行の植物画に影響を与えた牧野富太郎の植物図と坂本直行の絵画作品、さらに町内で採取した植物標本を合わせて展示して、坂本直行と牧野富太郎について紹介する。(来場者:2,321名)	R5				
企画展 新収蔵木彫り熊展	6月6日(火) ～9月3日(日)	木彫り熊資料館	寄贈・寄託を受けた木彫り熊の中で、これまで展示できなかった町内及び町外の木彫り熊作品の展示。 (来場者:2,646名)	R4			(R5) 予算:133千円 決算:未確定 来場者:未確定	
企画展 坂本直行展～ちよっくさん が見た景色～	2月28日(火) ～5月7日(日)	木彫り熊資料館	八雲総合病院が収蔵する坂本直行の絵画作品の展示。 (来場者:1,209名)	R5			(R4) 予算:133千円 決算:31,828円 来場者:3,618名	
企画展 ひな人形展	2月13日(火) ～3月3日(日)	梅村庭園 (梅雲亭)	郷土資料館が所蔵する明治期から昭和期のひな人形とやくもレディースネットが所蔵する全国のひな人形の展示。 ※共催:やくもレディースネット	R5	0	0	来場者:726名	
熊石歴史記念館 特別展開催事業	7月1日(土) ～7月31日(月)	熊石歴史記念館	熊石歴史記念館の教育的活用と地域の活性化をめざして特別展を開催し、地域文化の振興を図る ◆特別展「趣味の油絵展」	R4	0	0	来場者:480名	
				R3	0	3,760	来場者:260名	
				R5	0	0	来場者:172名	「趣味の油絵展」
				R4	0	0	来場者:169名	「熊石の絵師 鎧谷抱圓展」
				R3	0	0	来場者:157名	「八雲の木彫り熊たち」

【生涯学習】

【単位：予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考	
木彫り熊100周年記念事業	通年	町内	令和6年度が木彫り熊100周年となることから、八雲町の木彫り熊の歴史をたどり、木彫り熊の「今」を知り、未来について考え、八雲町民がより町に誇りと愛着を持てるように、令和5年度から事業を実施する。 ◆特別展・講演会 ◆ポスターの印刷配布 ◆資料館案内看板設置 資料館への案内の看板を、電柱広告として掲出	R5	4,290	—	—		
				R4					
				R3					

【文化財】

【単位: 予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考
文化財パトロール	11月8日(水)	町内	渡島教育局職員と道から委嘱を受けた調査員と共に、町内に所在する国指定重要文化財「コタン温泉遺跡出土品」、道指定文化財の赤彩注口土器、熊石の山海漁獵供養塔、無量寺賽保津波の碑の巡視を行う。	R5	0	0	3名(八雲町調査員、他町調査員、渡島教委担当)	渡島教育局調査員、他町調査員、渡島
企画展 重要文化財 「コタン温泉遺跡 出土品」展	10月3日(火) ～11月12日(日)	木彫り熊資料館	北海道教育委員会が定める「北海道文化財保護強調月間」に合わせて、国指定重要文化財「コタン温泉遺跡出土品」の公開・展示を行う。	R4	0	0	3名(八雲町調査員、他町調査員、渡島教委担当)	渡島教育局調査員、他町調査員、渡島
新八雲町史編さん事業	通年	郷土資料館	平成17年10月1日に旧八雲町と旧熊石町が合併して新八雲町が誕生し、令和2年に合併15年を迎えたことから、合併から15年間の歴史を「新八雲町史」として編さんする。	R3	0	0	0	0
アイヌ文化財保存活用事業	通年	—	町内に有するアイヌ関連の石碑のうち、特に重要な石碑1件を保護するための上屋を整備するとともに、アイヌ関連スポット11カ所へ看板を設置するほか、ウェブページやリーフレットでそれらを紹介することで、アイヌと移住者たちの関わりの歴史を広く伝える。(アイヌ施策推進交付金を活用)	R5	55,963	53,883,782		
木彫り熊デザイングッズ 企画開発事業	通年	—	令和4年度に八雲町とビームスジャパンが共同開発した木彫り熊デザイングッズに使用されている「くもはち君(熊の焼印マーク)」が、第三者に商標登録されることを防ぐために町が商標登録する。 ○令和5年7月21日に登録。	R4	8,800	7,941,068	0	0
				R3	3,919	2,761,966	0	0
				R5	99	107,500	0	0
				R4	8,800	7,941,068	0	0
				R3			0	0

令和5年度 八雲町社会教育委員各部会等活動報告

☆ 社会教育委員

期 日	事 業 名	会 場	活 動 内 容 等
5月24日(水)	第1回八雲町社会教育委員会議	八雲町公民館	11名出席
9月27日(水)	第2回八雲町社会教育委員会議	八雲町公民館	12名出席
11月29日(水)	第3回八雲町社会教育委員会議	八雲町公民館	12名出席
3月予定	第4回八雲町社会教育委員会議 兼公民館運営審議会	八雲町公民館	
5月10日(水)	令和5年度渡島社会教育委員連絡協議会第1 回役員会及び定期総会	函館市	委員長・事務局
7月13日(木) ～14日(金)	第43回北海道市町村社会教育委員長等研修 会	札幌市	委員長・事務局
9月8日(金)	令和5年度渡島社会教育委員連絡協議会第2 回役員会	函館市 (書面開催)	
10月20日(金)	第62回北海道社会教育研究大会(空知大会) 兼全国社会教育委員連合北海道ブロック大会	長沼町 (オンライン開催)	委員4名、事務局出席
11月9日(木)	令和5年度渡島社会教育委員研究集会	函館市	委員3名、事務局出席

☆ 総務部会

期 日	事 業 名	会 場	活 動 内 容 等
1月18日(木)	第1回総務部会	八雲町公民館	教育委員会事務事業の 外部評価について等

☆ 事業部会

期 日	事 業 名	会 場	活 動 内 容 等
11月29日(水)	第1回事業部会	八雲町公民館	部会長等の選出、活動計 画等について

☆ 団体育成部会

期 日	事 業 名	会 場	活 動 内 容 等
7月19日(水)	第1回団体育成部会	八雲町公民館	6名出席
9月10日(日)	町内活動団体交流会	八雲町民センター	委員7名、他2名出席
11月29日(水)	第2回団体育成部会	八雲町公民館	部会長等の選出、活動計 画等について

令和6年度 社会教育関係予算一覧

(千円)

	令和6年度予算額			令和5年度予算額			増減 ①-②
	当初一次	当初二次	合計①	当初一次	当初二次	合計②	
①社会教育総務費(八雲分)	7,229	14,447	21,676	6,490	6,669	13,159	8,517
②社会教育総務費(熊石分)	280	0	280	388	0	388	▲ 108
③社会教育総務費小計 (①+②)	7,509	14,447	21,956	6,878	6,669	13,547	8,409
④公民館費	7,821	453	8,274	16,678	386	17,064	▲ 8,790
⑤史跡史料管理費	2,323	966	3,289	6,481	3,470	9,951	▲ 6,662
⑥郷土資料館費	1,001	6,794	7,795	1,893	4,389	6,282	1,513
⑦町民センター管理費	5,286	0	5,286	5,806	0	5,806	▲ 520
⑧熊石歴史記念館管理費	2,056	0	2,056	3,285	0	3,285	▲ 1,229
⑨職員費(社会教育係)	10,668	0	10,668	0	0	0	10,668
⑩職員費(郷土資料館係)	8,331	0	8,331	0	0	0	8,331
⑪職員費(熊石教育事務所)	2,054	0	2,054	0	0	0	2,054
⑫社会教育課所管小計 (①+④~⑦+⑨+⑩)	42,659	22,660	65,319	37,348	14,914	52,262	13,057
⑬熊石教育事務所所管小計 (②+⑧+⑪)	4,390	0	4,390	3,673	0	3,673	717
⑭合 計 (⑫+⑬)	47,049	22,660	69,709	41,021	14,914	55,935	13,774

◇令和6年度 社会教育関係予算(当初二次)の概要
別紙のとおり

（単位：千円）

No.	項	目	件名	予算額	説明
1			八雲町平和学習事業	1,146	八雲町核兵器廃絶平和都市宣言（H20.3.20）に基づく平和学習事業の一環であり、町内の中学生を広島県へ派遣し、平和の大切さを学習させるとともに、次世代への平和教育の振興を図る。 （平成22年度・25年度～令和元年度・令和4～5年度実施） ○令和6年8月 広島市 中学生5名、引率1名、職員1名派遣予定 ○補助金1,000千円、職員旅費146千円
2			八雲さむいべや祭り開催事業	1,270	八雲町の冬のイベントとして開催する「八雲さむいべや祭り」を主催する八雲さむいべや祭り実行委員会へ補助金を支出する。 ○第38回八雲さむいべや祭り 令和7年2月上旬予定 ○補助金1,270千円
3			八雲山車行列開催事業	4,500	「町民の心のふるさとづくりと地域の新たな文化創造をめざす」ことを目的に開催している「八雲山車行列」を主催する八雲山車行列実行委員会へ補助金を支出する。 また、令和6年度は第40回の節目の年となることから、40年の歩みを振り返り、心のふるさとづくり、そして地域の文化として今後も山車行列が継続・発展していくために40周年記念事業を実施する。 ○第40回八雲山車行列 令和6年7月5日（金）・6日（土）予定 ○補助金4,500千円（※参考 R5：3,000千円）
4	4. 社会教育費	1. 社会教育総務費	ミュージックサマースクール事業	230	令和4年度まで「北渡島檜山4町地域連携推進事業」として開催していた事業の参加町負担金等経費。（R5年度政策推進課から所管替え） ○主管：今金町（参加：八雲町、長万部町、せたな町） ○会場：今金町立今金中学校 ○日程：令和6年6月15日・16日予定 ○内容：札幌交響楽団や有識者による中学生のためのバンドクリニック ガラ・コンサートの開催
5			事務用機器購入事業	1,150	八雲町公民館に設置しているデジタル印刷機について、経年劣化による故障が頻発していることから、更新整備する。 ○現在使用している印刷機：平成27年4月導入、総印刷枚数278万枚
6			社会教育課公用車整備事業	4,520	現在社会教育事業で使用しているワゴン車は、平成21年度に購入以降、他課の使用も含め使用頻度が非常に高く、経年劣化により修理をしながら使用している状況であり、荷物運搬等を行うことも多いことから、現在と同規模の貨物ワゴン車の更新を行う。

令和6年度 社会教育関係予算（当初二次）の概要

（単位：千円）

No.	項	目	件	名	予算額	説	明
7		1. 社会教育総務費	小牧市・八雲町児童・生徒 学習交流事業		1,631	八雲町を拓いた祖先の出身地としてゆかりの深い愛知県小牧市の児童との学習を通して両市町の交流を図る。（R6学校教育課より所管替） ◎夏季休業中～小牧市から児童24名受入（3泊4日） ◎冬季休業中～八雲町から生徒6名派遣（2泊3日）	
8		2. 公民館費	公民館講座「木彫り熊講 座」開設事業		453	「北海道木彫り熊発祥の地」として、八雲の木彫り熊の伝統を後世に継承するため、「木彫り熊講座」を復活12年目として開設する。 （受講者数：平成25年度～令和5年度 延べ124名）	
9			山越収蔵庫解体事業		594	山越収蔵庫は、山越中学校閉校に伴い、平成5年度から校舎の一部を埋蔵文化財及び発掘器材の収蔵庫として使用していたが、老朽化で床が抜け壁の損傷も激しいことから、建物を解体する。令和5年10月から解体前にアスベスト含有調査を行うことが必須となったため、令和6年度は調査のための経費を要求する。（解体工事は令和11年度以降を予定）	
10	4. 社会教育費	4. 史跡資料管理費	史跡整備備品購入事業		62	梅村庭園の管理に必要な生垣バリカン（平成24年製）が壊れてしまい、剪定作業に支障が出ることから更新整備する。 また、梅村庭園管理人は梅村庭園以外の史跡と収蔵庫の草刈りを行っているが、この草刈り機が壊れたため、購入費を計上する。	
11			国立慰霊施設へのアイヌ遺 骨集約事業		310	平成28年に町内東野で発見されたアイヌ遺骨等について、令和5年に国から示されたガイドラインに基づいて町の取扱方針を定め、白老町にある国立の慰霊施設に集約を行う予定であるため、必要経費を計上する。	
12		5. 郷土資料館費	木彫り熊100周年記念事業		6,721	令和6年度が木彫り熊発祥100周年となることから、八雲町の木彫り熊の歴史を辿り、木彫り熊の「今」を知り、未来について考え、八雲町民がより町に誇りと愛着を持てることを目指して実施する。 ○実施予定事業：木彫り熊100周年映像制作・放送事業、くまさんの日トークイベント、木彫り熊講演会等	

令和6年度 社会教育関係予算（当初二次）の概要

（単位：千円）

No.	項	目	件名	予算額	説	明
13		5. 郷土資料館費	デジタル機器更新事業	73	郷土資料館及び社会教育課のデータ等保存用として、運用しているNAS（ネットワークHDD）について、平成26年11月から使用しているが、メーカー保証期間を超えて使用しており、破損によるデータ損失を防ぐため、更新整備する。	
14						
15	4. 社会教育費					
16						
17						
		合計	13件	22,660		

令和6年度 八雲町社会教育課・熊石教育事務所所管事業計画案

(1)月別事業予定

	主催事業・会議等		主催事業・会議等
通年	<ul style="list-style-type: none"> ・IT町民サポートセンター(4月～3月) ・公民館生涯学習講座(6月～12月) ・公民館生涯学習パソコン講座(6月～10月) ・梅雲亭茶道講座(6月～11月) ・マイプラン学習講座 ・木彫り熊100周年記念事業講演会(5月～10月) 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・重要文化財「コタン温泉遺跡出土品」展(～11月) ・第33回全町生涯学習フェスティバル(～12月) ・お年寄りと子どものつどい④ ・カタカタぬ～りぬり(熊石) ・史料より見る歴史講座① ・ミニ金魚ねふたづくり講習会 ・あんどん型山車づくり講習会
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵美術展(～5月) ・地域生きがい学級開設(～3月) 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーラップ川自然体験学習会② ・お年寄りと子どものつどい⑤ ・第34回全町女性研修会 ・第3回社会教育委員会議 ・史料より見る歴史講座② ・第36回親子の自然体験学習 ・文化財パトロール ・小牧市・八雲町児童・生徒学習交流事業(派遣)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・熊石生きがい学習塾開講(～10月) ・第1回社会教育委員会議 		
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・木彫り熊講座開講 ・第52回遊楽部学園開講(～3月) ・第51回茜学級開講(～3月) ・収蔵美術展(～8月) ・木彫り熊特別展②(～9月) 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りと子どものつどい⑥
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーラップ川自然体験学習会① ・お年寄りと子どものつどい① ・第50回YOU・遊・クラス開講(～3月) ・化石採集体験学習 ・ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展(～8月) ・熊石歴史記念館特別展 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・八雲町二十歳の集い ・第60回小・中学生新年席書大会(八雲) ・新春書き初め席書大会(熊石) ・縄文文化体験講座 ・ユーラップ川自然体験学習会③
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回文化財保護審議会 ・お年寄りと子どものつどい② ・第46回子どもアイデア工作展募集 ・木彫り熊100周年記念事業 ・小牧市・八雲町児童・生徒学習交流事業(受入) 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな人形展(～3月) ・第41回青年問題研究集会 ・第2回文化財保護審議会
		3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーラップ川自然体験学習会④ ・第4回社会教育委員会議兼公民館運営審議会
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・第46回子どもアイデア工作展審査・展示・表彰式 ・第41回ふるさと発見ウォークラリー大会 ・お年寄りと子どものつどい③ ・第2回社会教育委員会議 ・木彫り熊特別展③(～12月) 	未定	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で遊ぼう～For Little Children～ ・国際交流事業(ALT活用事業) ・女性活動リーダー養成国内研修[隔年事業] ・第38回青年活動リーダー研修会 ・幼児教育講演会 ・家庭教育講演会 ・家庭教育支援講座 ・町長と高校生の意見交換会 ・少年文化財教室

令和6年度

教育行政執行方針

八雲町教育委員会

「第2期八雲町教育推進計画」の後期2年次となる令和6年度は、子どもたち一人一人の「自立」「協働」「創造」の育成を目指し、誰一人取り残すことのない学びの実現を一步一步進めるとともに、八雲町の教育理念の具現化を図ってまいります。

また、本年は木彫り熊発祥100周年を迎えることから、徳川義親が興したその歴史を振り返り、木彫り熊がより一層広く知らしめられるとともに、町民の愛着を育み、この節目の一年が永く記憶に刻まれるよう取り組んでまいります。

こうした考えの下、令和6年度の教育行政の重点施策について、学校教育から申し上げます。

1 自他を認め持続可能な社会の創り手を育む教育活動の展開

予測困難な時代の中で、子どもたちには、自ら課題を見つけ、学び、考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められており、学校がこのような「生きる力」を確実に育てていくため、地域社会と連携・協働しながら、組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図っていく「カリキュラム・マネジメント」を実践できるよう支援してまいります。

子どもたちが社会の創り手として、必要となる資質・能力を確実に身に付け活用できるよう、八雲町の子どもたちの課題である、文の構造や文章・図表の内容を正しく理解し、既存の知識と新しく得た知識から論理的に判断したり、表現したりすることができる力である「汎用的読解力」を育む視点で、すべての小・中学校において共通実践事項である「八雲スタイル」を確立し、授業改善を推進します。

さらには、一人一台の学習用端末の活用を促進し、子どもたちの個性や学習状況に応じた「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に実現するとともに、中学校において生徒自らの興味・関心に基づく創意工夫を生かした探究的な学習に取り組んでまいります。

また、不登校児童生徒への学習支援と学校復帰への意欲の向上に向けて学習用端末を活用したりするなど、一人一人の学びを保障しつつ、その質を高めてまいります。

外国語教育については、ALT（外国語指導助手）を継続して複数配置し、小学校から中学校まで生きた英語教育を実践して、豊かな国際感覚が育まれるよう支援

します。

あわせて、校長会、教頭会と緊密に連携を図りながら、最前線で教育活動を担う教員の実践的な指導力を高める研修を積極的に推進してまいります。

2 小中一貫型コミュニティ・スクールの充実

八雲町における「小中一貫型コミュニティ・スクール」の取組は、7年目を迎え、中学校区における学校運営協議会を中核に据え、地域・保護者はもとより中学生、高校生とも一体となった教育活動のほか、八雲町の歴史や文化、産業に関する学習機会やキャリア教育を支援する活動が展開されるなど、「社会とともにある学校」の具現化が図られてきています。

今後も、学校運営協議会の代表により構成する「八雲町コミュニティ・スクール連絡協議会」を通じて、それぞれの取組の成果や課題を共有したり、その取組を町内に広く周知したりすることにより、参画する保護者や地域の方々の意識の高揚に努めてまいります。

小中一貫教育においては、各中学校区内で目指す15歳の姿を共有し、その実現のため、義務教育9年間を一つのまとまりとして捉え、小学校と中学校を円滑に接続する教育課程を編成するとともに、系統性・連続性を踏まえた学習指導による確実な学習内容の定着を一層図ってまいります。

3 誰一人取り残すことのない教育の充実

子どもたちが、互いに思いやり、支え合いながら社会の一員として生きていくためには、健やかな心身の成長が極めて大切であり、それぞれの発達段階や状況に応じた適切な教育環境を整えることが重要であると考えております。

八雲町が独自に導入している、八雲小学校の低学年における25人編成の少人数学級指導により、極めて重要な小学校低学年段階の教育環境を整え、心身の発達を含めた知・徳・体のすべてにわたる義務教育期間の基盤を確かなものにし、望ましい生活習慣の確立や学力向上など、一人一人の状況に応じたきめ細かな教育を推進します。

「いじめ」や「不登校」など、子どもたちを取り巻く様々な問題については、これまで取り組んできた教育相談やスクールカウンセラーの活動に加え、昨年度から

実施しているピア・サポート事業をすべての小・中学校に拡充し、子どもたちの助け合いや支え合いの気持ちをより高め、自己有用感を育み、子どもたちの心身の健全な育成を推進してまいります。

特別支援教育においては、個々の教育的ニーズに応じた支援を行うため、特別支援教育支援員を適切に配置し、発達障がい等の特別な支援が必要な児童生徒の進級・進学に向け、関係部署との連携の下、継続した支援や適切な教育環境の確保に努めてまいります。

また、関係機関が一堂に会する「特別支援教育連携協議会」の開催により、特別支援の諸課題の解決方向や卒業後も見据えた継続的な支援体制の構築について議論を進めるとともに、各学校に出向いて行う発達障がい等の理解や家庭支援のための研修を引き続き実施してまいります。

経済的理由により就学困難と認められる世帯に対して行う就学援助については、制度の周知を徹底し、必要とする時期に適切な支援が実施できるよう継続して取り組むとともに、高校や大学等への進学者に対する奨学金の貸付事業や、農漁業、商工業後継者に対する養成奨学費の助成を引き続き実施してまいります。

食に関する指導については、栄養教諭を中核として地域の生産者等の協力を得た授業を行ったり、地元食材を一層積極的に活用したりするなど、子どもたちが食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けるとともに、食を通じて郷土への理解を深めることができるよう取り組んでまいります。

食物アレルギーを有する子どもには、引き続き「八雲町立学校における食物アレルギー対応指針」等に基づき、対応食を調理し提供してまいります。

また、平成 30 年度から実施している学校給食費無償化は、保護者負担を軽減し、安心して子育てができる環境の充実を図る重要な支援策であることから、引き続き実施してまいります。

4 安全・安心な教育環境づくりの推進

児童生徒の安全確保は、信頼される学校づくりの基盤であり、学校においては、危機管理マニュアルの点検・見直しや防犯・防災教室などの取組を、関係機関や地域の皆さんの協力を得て計画的に実施し、地震や津波等の災害発生の際に適切な行動ができるように備えてまいります。

学校の施設・設備については、全小・中学校の普通教室へのエアコン設置を推進し、児童生徒の健康面の安全と教育環境の充実に取り組むとともに、教職員住宅についても、適切な保守管理に努めてまいります。

次に、社会教育について申し上げます。

5 町民自らが主体的に学び行動する生涯学習社会の実現

町民が心豊かに充実した日々を過ごすためには、生涯を通じて主体的に学び、その成果を活かすことができる社会の実現を図ることが極めて重要であると考えております。

このため、町民の学習ニーズを的確に捉え、各種講座の開催、社会教育団体と連携した様々な事業や町内各地域における芸術文化活動などを推進するとともに、第40回の節目を迎える八雲山車行列や八雲さむいべや祭りなど、地域に根ざした活動の充実が図られるよう支援してまいります。

八雲町の文化財については、木彫り熊発祥100周年記念事業に町民と連携して取り組むとともに、様々な文化財の適切な保存・活用を通じて、郷土への愛着や誇りを育み、歴史文化への関心と理解がより深まるよう、各種講座の開催や情報発信に努めてまいります。

公民館や町民センターなどの社会教育関係施設については、役場庁舎等建設基本計画に基づいて検討を進めるとともに、より利用しやすい施設の運営と維持管理に努めてまいります。

図書館については、適切な資料収集と町民サービスの提供に努め、計画的な巡回図書の実施と各施設内の図書コーナーの充実を図り、図書館事業を通じて、家庭や地域、学校など社会全体で子どもたちが読書に親しむ機会の充実を図ってまいります。

さらに、図書館運営においては、ボランティアによる様々な文化的な事業の企画・運営を積極的に支援するとともに、ロビーにおける展示事業についても町民の文化活動の場として利用促進に努めてまいります。

6 心身の健康を目指した社会体育・スポーツの確立

八雲町のスポーツ振興は、スポーツ協会、スポーツ少年団本部などの関係団体の献身的な活動によって支えられ継続してきており、今後も、町民の興味・関心を高め、自主的で継続したスポーツ活動を促すとともに、スポーツ活動を通じて豊かな人間関係を深め、あたたかく活気あふれる町づくりにつなげていくことが重要であると考えております。

八雲町出身のアスリートは高い目標に向かって果敢に挑んでおり、町内の子どもたちも各種大会で優秀な成績を収め、町民に感動と勇気を与えています。

一方で、若年層のスポーツ機会の減少や体力低下が懸念され、中学校部活動においては、少子化も相まってチーム編成が困難な団体競技が見られることなどから、道においては、まず休日の部活動を令和7年度までに地域に移行することを重点としています。教育委員会としては、これを踏まえながら、学校、家庭、地域の皆さんと地域移行に向けた協議の場を設置し、想定される多くの課題に向き合い、その方向性や対応など、地域の実情を踏まえた持続可能な部活動の体制づくりについて検討を進めてまいります。

また、スポーツ大会やスポーツ教室の企画、見るスポーツ、支えるスポーツなど、世代に応じた健康の維持・増進の取組を推進し、スポーツ情報の発信やスポーツ機会の提供に努めるとともに、誰もが安全・安心にスポーツに親しめる体育施設の維持管理に努めてまいります。

さらに、八雲町の気候や自然を活かしたスポーツ合宿の誘致活動にも取り組んでまいります。

以上、令和6年度の教育行政の執行に関する方針の大綱について申し上げます。

自然豊かな八雲の地において、ふるさとに誇りをもち、これからの社会を担っていく人材を育成するため、地域づくりの基盤は教育にあるとの信念の下、「渡島の教育は二海から」のスローガンの具現化に向け、学校・家庭・地域の皆さんと一丸となって、八雲町の教育の充実・発展に取り組んでまいりたいと考えておりますので、議員並びに町民の皆様の御理解と御支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

